



中村俊定文庫

文庫 18

621



新刻俳諧線衣目錄

四季の詞ハ

句太の事

雜の詞ハ 雜の花

同語補竹撰

意の詞

日意句の扱ツ

切字 ト ニ のぬ

去嫌款の事

三の

トル波款の事

俳諧の式 年月花の定坐

テ誠の款

句數の事

用接の款

十六篇の句數



線衣之書述俳諧体格及四令定辞使鄙為
都俗為雅也未附蕉翁十六篇以充吟詠之
備也嚮自旧刻筆行雅客騷人無不需得珍
藏以故梓字漫滅戊戌歲更再刻矣自尔至
今改鑄凡六矣今茲又復更煩補漏新上梓
以便干風流云

天明六年丙午九月

文刻堂主人題



春正月

立春 孟春 聖節 睦月 上陽 初空月
青陽 初陽 大簇 夏正 端月 春正月

元日 雑旦 年始 改年 歳旦 新春 年頭 年礼 三のりめ

日のり先 釣糝 ころ空 あら玉のひ 四方の妻

御代の妻 忍の妻 夕代の妻 日の妻 宿の妻

年まゝる 四方糝 福寿草 元日系 星宿小

氷の様 元日系 御茶代 くらり子 屠蘇白散

復赤奏 忍方 歳徳神 割け

園うめ かに見降 楪葉 園乃木 白

いねつむ いねあたる ぶさり 門松

傍竹 日景 日繩 波連 松飾

大少 忍 雑菜 異足鏡 ちり男

たうまや 後 忍 忍水 井筒 菫菜 食つこ

ゆり比豆 ち 忍 倭子 田作 押結 収の子

穂長 年玉 夕りく 越打 社さき ね子のこ

あがりね子 ちりく こそらこ

福引 寶引 破戸 矢 弓たしめ 巻ひしこ

湯殿 飛る始 馬弘 糸切 玉とけり 吉書

筆試言初

舟中系

初夏初高

いんげん

店おろし

いせ賣

松籠子

万蔵子蔵

あざみ

松の内

弾そめ

初芝居

節小純

せらね株

縁初詣初

大黒翁

人日梅

子の日遊

子の日の松

子の日名

いそ菜摘

七種

いと菜摘

初室泰

縁おろし

箕屋富

為達菜摘

縁石

卯村卯櫃

いそいそ

十日夷

後ひくき

男踏歌

十日菜摘

いそいそ

懐とら

信成さ

左長

いとんと

御新

初天神

街忌

山知小

東風

厄休縁時

色水まじ

街雪

名解雪間

雪菜

水入菜

本の花

下萌

雪菜

雪菜

雪菜

真約

真約

真約

真約

真約

真約

真約

真約

真約

真約

松の花

松の花

松の花

松の花

松の花

柳	この花	流む矢	白柳	好文本	海舟梅
柳	青柳	菅宿梅	白ひ葉	垂つけ州	捲むめ
柳	三 此以下三葉小つる	五柳川柳	柳ころも	門柳若柳	風見草
柳	百小多	志より柳	柳ころも	そこ柳	こ柳
柳	経より香	菅	白ひ葉	徒尾	歌
海苔	毛のり	菅の葉	うひま葉	合衣香	秋より香
くく皮	酒	様	猫活	黄香	もえつる
ワラメ	テ大根	ワラメ	ワラメ	芥	心トき
大葉	糸接	くひろふ	くひろふ	青め	鳥
蜘蛛	くはり	膏雨	膏雨	梅の玉	初餅
果香	佐保娘	喜あしぬ	喜あしぬ	多め	飯
あま	薬麻	新文日	新文日	椿	長家
柳	柳	産の効	産の効	椿	喜あしぬ
山と焼く	芝と巻く	焼	焼	山椒皮	几中
味	味	味	味	山椒皮	藪つえさ
味	味	味	味	山椒皮	聖老とら

春 二月

仲春 如月 花朝 美景 夜更玉
央鐘 冲陽 今月 梅見月 小茶生月

春好候記

釋奠初年

真日奈 申

以良公滿

二日矣

新能 十四日

長文純日

社日

雪の別日果

猶月

後切

後とろ

後とれ

苗代

傾縁柱炬

小野御忌

淫葉會

社人傳

仁の口ま

さうい佛

治尊浦

彼岸

變化の徳成

初雷初電

まの葉

雛子

すまゝ

き雀

燕巢さる

魚も

うねよき

たこき

松むしこき

帰る居

居の足跡

居の口ま

少の居

徳の居

海の居

雀の子

花梅

心梅

度梅

さう梅

黄梅

花梅

初梅 初茶

むし梅

糸さう

さうつま

麻の南島

薊巻あき

眉化の花

義の口ま

ワラ茶

小この茶

鞍多き

茶の花

大板の心

よめ茶

松葉

あさり

せんま

柏杞

早麻

ねんさう

田螺

蝶蛇種

樟の葉

1のえ

麻さう

かろり

蛇さう

橋本橋徳

系摘

春候梅

目さう梅

うこぎ

のびり

二月のあま

春 三月

初生 季春 蚕月 姑洗 宵月 春借月
禊月 楳月 竹秋 楳浪 花船 花見月
曲水の宴

己の日の後 次第の後 上巳 楳の節供 雛祭

桃花の節 雛祭り 雛籠 雛籠 雛籠 雛籠

結句 香と端じ 石清水 吉野式 音順の巻入 宿禰のお出

石山系 暖湯を佛 御身拭 隅田木を仏 浅草系 香粧版

おん会仁 洗下 花の湯 春の菓 田原の菓

御新供 味子煮 味子煮 味子煮 味子煮

法もの菓 楳の菓 小鮎の菓 折葉魚

楳の菓 菜子蟹 白巻 桃の菓 紫桃

楳 三子代系 山さくら 湯葉 湯葉

ふんば 湯葉 湯葉 湯葉 湯葉

八色 湯葉 湯葉 湯葉 湯葉

湯葉 湯葉 湯葉 湯葉 湯葉

湯葉 湯葉 湯葉 湯葉 湯葉

湯葉 湯葉 湯葉 湯葉 湯葉

人形さうし
階さうし
らくし橋
白ひさうし
虎の尾

遠さうし
谷さうし
普賢像
花さうし
継さうし

庭さうし
糸橋
遠さうし
野の橋
相谷さうし

かき草
橋岡
さうし橋
橋人
さうし戸

乙井の橋
一重橋
喜徳様
喜紀橋
さき橋

太山府君
わかさき
喜久州
不改橋
をれ橋

花
花のさき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花園
さか車
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のき
花のき
花のき
花のき
花のき

花のつゝ	鬼ノ梅	小式	花のつゝ	山吹
若	夏あじ	花のつゝ	花のつゝ	さくら
ウツ	花のつゝ	白	夏	夏
赤	小	栗	あせ	花
金	秋	ア	楊	山
本	本	か	梅	花
舞	李	梨	山	花
ふ	海	辛	山	花
柿	つ	も	山	花
合	け	丁	山	花
あ	か	菊	山	花
九	七	仙	山	花
三	茶	若	山	花
つ	茶	通	山	花
蛙	六	口	山	花
三	夏	夏	山	花
喜	夏	夏	山	花
喜	喜	三	山	花

夏

四月

初夏 首夏 卯月 乾月 卯の季月
中呂 孟夏 早夏 鎮月 花名抄月

更衣

稻荷の花

依のうら湯

御供

葵車

月夜

若の花

富貴

燕子花

葵

あまぐさ

てのせ

お花

つら

夏本

花抽

白くま

水磨の綿

浴佛

花供

牡丹

花

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

白くま

水磨の綿

浴佛

花供

牡丹

花

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

白くま

水磨の綿

浴佛

花供

牡丹

花

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

白くま

水磨の綿

浴佛

花供

牡丹

花

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

牡丹

山首の花

郭公

かんこも

筆

あしき

蓮玉

青麦

夏菊

三

千穂

川探

鴨川

坂

三

三

三

三

一夏

あまの星

葎系

初松

たぐん

麻袋

紫系

初

青山

三

あま

はの

鳴

鴨

三

三

三

三

一夏

あまの星

きん

蝶

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

一夏

一夏

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

一夏

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

一夏

夏 五月

蕪寅 茂林 皋月 四月 月見ぬ月
仲夏 橘月 鶉月 早苗月

加茂豆折

松平系

秋喜蒲

笑の録鳥

生玉おぼろ

菖蒲

松岡射

御霊會

瑞年

日長

無ちま

蓬

射のあめ

柏餅

糍 鏡

ひんあ甲

さうぬ湯

さうぬ甲

さうぬのり

さうぬ刀

さうふ

さうぬ子

百子

茶日

さうふ酒

首

高蒲

高の札

六日昔蒲

永交板

字

あ間

系浴

水馬

強射

入物

おまの目

山田田扇

神輿洗

派給

百合

あまの目

六月雨

早松草

生

車ゆり

あまの目

あまの目

あまの目

あまの目

石

あまの目

あまの目

あまの目

あまの目

藤より舟	藤の花	藤と州	はかしの花	菫の花
糸帯を州	紫陽花	旧都の花	ろくろの花	さるとりの花
つづもの茶	ぐくの花	はなの花	まつむ花	くろい草
つばねの茶	おあ茶	悪者の花	合銀花	かまゆり草
うごきと州	さ月づ	らうづ	合飲の茶	花ぶくろ
ひかう柳の茶	柳の花	せんえの花	天南星	古来の花
青梅	しら梅	あから	杏子	枇杷
萱草	梅子	くら梅子	石ちく	糸の花
葛	お目お	まうりひ色	お夏	つらら茶

小蘇	白瓜	あきうり	てん瓜	照射
おぬけ茶	糖の茶	あまの茶	鴨の子	獣物
藤の子	蜜	あつた	蚊やう	蛇ら
藤の初芽	さ月園	ろくろ	ふり舟	布雨
田植	早乙女	田うら	ま田	玉苗
早苗とる	早苗	田茶とる	葉の茶	梅漬
梅と	梅むき	小梅の茶	かたさく	菽の茶
空豆ひく	藪さく	梅さく	さひさく	豆梅
らの物	麦粉	粉	水粉	うら

夏 六月

林鐘 且月 瓜期 水在月 孝友月
季夏 精陽 趣月 凡俗月 心林月

氷室

少室の寺

氷屋後

氷のり

少室の橋

富士

六月會

嚴修

竹生

熱田

祇園會

長刀

函谷

月不

結不

菊

放下

取不

名戸

白出

孟宗

郭巨

蟪蛄

琴破

白茅

ち子

本城

若刈

花盗

山伏

天神

野山

福山

鯉山

色俣

碧山

後山

鈴鹿

鷹山

観音

舟不

川社

夏後

名城

名神

形代

芽の痛

夏後

結切

名神

夕立

よすら

暑

土用

虫不

三伏

草

竹奴

竹婦

抱鏡

納涼

涼

川系

月涼

赤涼

日傘

風

その暑

清

水版

心者 <small>ココロ</small>	ひの <small>ヒノ</small>	蓮 <small>レン</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	白蓮 <small>ハクレン</small>	揚梅 <small>ヨウバイ</small>
芍水 <small>シャクスイ</small>	川骨 <small>カハネ</small>	蓮 <small>レン</small>	百日 <small>ヒヨク</small>	さうり <small>サウリ</small>	揚梅 <small>ヨウバイ</small>
お蓮 <small>オレン</small>	深 <small>フカ</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	竹の皮 <small>タケノカ</small>	竹の皮 <small>タケノカ</small>	藤 <small>フジ</small>
夏栞 <small>ナツシ</small>	ささ <small>ササ</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	夏草 <small>ナツクサ</small>	夏草 <small>ナツクサ</small>	藤 <small>フジ</small>
綿の花 <small>ワタノハナ</small>	腐 <small>ク</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	糸瓜 <small>ヘチマ</small>
夕 <small>ユフ</small>	夕 <small>ユフ</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	糸瓜 <small>ヘチマ</small>
蝉 <small>セミ</small>	蝉 <small>セミ</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	糸瓜 <small>ヘチマ</small>
涼 <small>スズシ</small>	涼 <small>スズシ</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	糸瓜 <small>ヘチマ</small>
秋 <small>アキ</small>	秋 <small>アキ</small>	赤葉 <small>アカエフ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	瓜 <small>ウリ</small>	糸瓜 <small>ヘチマ</small>

秋 七月

孟秋 初秋 夷則 蘭月 女乞月
明景 首秋 桐秋 文月 大正ろけ月

三秋

とちの秋

ふの秋

あつ秋

秋の初風

一葉

桐の系糸

初と涼

秋の系糸

秋の系糸

柳皮

一系糸

桐

柳の系糸

柳の系糸

日と拂

松持

七夕

柳の系糸

柳の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

夕の系糸

蓮の版	蓮の葉賣	さし紙	盆市	子市
燈籠	舟さうろ	揚灯籠	花さうろ	切子さうろ
新さうろ	箱さうろ	高燈籠	踊	小町さうろ
浮瑠かとり	凱門かとり	念仏さうろ	五芳かとり	松さうろ
三井吉女流 <small>十五</small>	大文字の大 <small>十五</small>	鳥居大	舟形の大	妙法の大
夏書納	夏め書	煙草流	こさ山糸 <small>廿</small>	熾平糸
地巻糸	秋飾	花大	稲妻	榴のよ
幼嵐	徳座作	扇巻く	うちさ捨ろ	まをえ
次巻	あつ巻	本槿	茶の花	女市巻
男 <small>一</small>	朝う不	さきう	浮きさう	萩 <small>キ</small>
萩 <small>キ</small>	糸えさ	小えさ	萩の綿	麻 <small>十</small>
楓 <small>カコ</small>	作	仙 <small>シ</small>	観音糸	糸 <small>キ</small>
茶師茶	ふと切糸	益母 <small>マ</small>	たせ紙	まがひ糸
うへ入の花	まき玉の花	紫 <small>ム</small>	蘭	わらわさ
着むる糸	小車の花	名の子糸	まへ <small>一</small>	やいとを
柘 <small>シ</small>	柘 <small>シ</small>	夕 <small>タ</small>	徒 <small>ト</small>	柘 <small>シ</small>
くさねの糸	蓮の突虎	深 <small>シ</small>	ま <small>ク</small>	柘 <small>シ</small>
深 <small>シ</small>	深 <small>シ</small>	か <small>豆</small>	西 <small>西</small>	栗 <small>栗</small>

瓢箪 ヒヤウタン 瓢箪 ヒヤウタン 百あり あり 粟穂 アヲヒ

鳩 トビ 鳩 トビ 初冬 ハツフユ 初冬 ハツフユ 山 ヤマ 秋 アキ 秋 アキ

初冬 ハツフユ 二百十日 ニヒヤカ 本綿 ホンワタ 稲の花 イネノハナ 富貴 フキ 富貴 フキ

子猫 コネコ 室の子 ムロノコ 稲葉 イネハ 秋の坂 アキノサカ 秋の虫 アキノムシ 秋の虫 アキノムシ

虫合 ムシガヒ 松むし マツムシ 人 ヒト 秋 アキ 秋 アキ 秋 アキ

ちどり チドリ ちどり チドリ ちどり チドリ ちどり チドリ ちどり チドリ ちどり チドリ

いかに イカニ くさねの虫 クサネノムシ 玉虫 タマムシ 赤とんぼ アカトンボ 秋津虫 アキツムシ 秋津虫 アキツムシ

蜻蛉 トシホリ 蜻蛉 トシホリ 秋の蝶 アキノテフ 秋の蝶 アキノテフ 秋津虫 アキツムシ 秋津虫 アキツムシ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ 藤 フジ

秋 八月

仲秋 葉月 壯月 罽月 秋分月
南呂 竹春 桂月 月見月 尾末月

八朔

このむの月
白露の雨
お野原
堺天神祭

九月

御冥祭
十六日
紋生会
石上戸

十月

十五夜
こみお
名月
夕の月

十一月

秋分
月々宵
月のおく
月の弓
月の糸

十二月

月のおき
夕月お
月の友
月と友

正月

盆の光
姥娘
芋名月
正月の月

二月

名高き月
後の波
蛇宮入
初夜
美奈祭

三月

本厚の花
うらの花
花野
春

四月

糸香
花を交
尾花
一力堂

五月

宇治茶園
花菜
盆の花
紫苑

六月

竹の幸
月菜
赤茶
茶の香

七月

野火つく
野火の痛
野火
周仙花

八月

極みとら
令別茶
極みの花
鴨上戸

九月

花の光
姥娘
芋名月
正月の月

十月

名高き月
後の波
蛇宮入
初夜
美奈祭

十一月

本厚の花
うらの花
花野
春

十二月

糸香
花を交
尾花
一力堂

あけひ	葵の花	穂くそ	かよの花	けこの花
うそ瓜	かま瓜	檀特花	西庭つるき	白粉の花
鳥除	秋摘	あや尻子	梅の花	とろのむ
たこの花	蕎麦の花	芦の花	草の穂	いとろの葉
水ひよのむ	むくく草	ひよのむ	小巻草	箱負草
盾	初盾	盾子	りん盾	盾の掉
盾のむ	盾の便	白盾	後まき	刺る盾
気さ	つくこ	ひさか	喉本草	山雀
かき	かうく	早く	みすく	不あ
鴨 鴨	紫雀	弱き	連雀	豆ま
月白	オシ	鶴	菊のた	鶴
不しち	わと	鶴百々	鶴の子	鶴の葉
鶴の目	香草	ろく草	あ	隼
本雀	非	な	志	四
あや	小葉	月	つ	縮
秋の田	田刈	田と	田の	田
八束穂	尾穂	穂	加	芥子
大根	蓋	初穂	牡丹	才

秋

九月

季秋 暮秋 長月 小田月
晩秋 菊秋 菊月 麻月 本末の終

御燈北斗奉 九月三日
極宮南九日
重陽の宴 九月五日
毛九日
菊の宴 九月九日
菜萸の袋 九月十日
白川祭 九月十三日
徳富の文祭 九月十五日

菊の花宴 九月十日
菊の宴 九月十日
例幣市 九月十日
日蓮山遊覧 九月十日
生野祭 九月九日
白川祭 九月十三日
徳富の文祭 九月十五日

佐々木の市 九月十日
日蓮山遊覧 九月十日
生野祭 九月九日
白川祭 九月十三日
徳富の文祭 九月十五日

神田の神祭 九月十五日
あやめ祭 九月十五日
くらを祭 九月十八日
旗夷祭 九月廿日
水山祭 九月廿日

新村祭 九月廿日
お祭り 九月廿日
八幡祭の夜 九月廿日
虫撰 九月廿日

野火の祭 九月廿日
お祭り 九月廿日
中風 九月廿日
りらり 九月廿日

上ロウニス 九月廿日
名の本夜 九月廿日
お祭り 九月廿日
栗餅 九月廿日
本錦 九月廿日

著の根城 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

空堀 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

くらり 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

あさ松の月 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

十日菊 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

わらわ 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日
お祭り 九月廿日

落葉子	板の裏	板の裏	板の裏	とら麻	せんえんの裏
模のこ	模の裏	落葉	落葉	ざくろ	秋櫃
秋のこ	秋の裏	秋の裏	秋の裏	楳梨	松子楳
柿	柿	柿	柿	熟柿	市下柿
柿のこ	柿の裏	久年柿	久年柿	野山の柿	赤柿
柿の裏	柿の裏	芳の穂柿	芳の穂柿	破芭蕉	落し水
柿の裏	柿の裏	尾府の	尾府の	赤おむ麻	尾城の鴨
柿の裏	柿の裏	中うめ	中うめ	松穀	竹の裏
柿の裏	柿の裏	落し	落し	紫のり	さくら
柿の裏	柿の裏	焼く	焼く	いろ栗	ちぢり
柿の裏	柿の裏	柿	柿	柿	柿
柿の裏	柿の裏	小豆	小豆	粉豆	初音
柿の裏	柿の裏	おつち田	おつち田	燗雑煮	種のお
柿の裏	柿の裏	冷り	冷り	おき	おき
柿の裏	柿の裏	もよお	もよお	仍秋	味より後
柿の裏	柿の裏	秋と	秋と	秋の文	秋の文
柿の裏	柿の裏	葎の秋	葎の秋	おと	おと
柿の裏	柿の裏	九月	九月	柿送り	おと

冬

十月

玄冬 初冬 陽月 神皇月 幼吉月
小春 孟冬 良月 時雨月 夕陽月

御衣楮

亥の子の餅

神の宮

神の鏡

冬ごま

射場始

篠菊の宴

大社神

出を神

達磨忌

東福寺閑山忌

御新講

十夜

ぬ夜こ

神むらひ

下元

夷講

飯田

巨槌切

炉火

葉口切

火桶

桐火桶

時雨

川の時雨

松風の時雨

夕ぐれ

村ぐれ

小ぢぐれ

掛ぐれ

神ぐれ

初霜

赤甲ぐれ

赤松

赤葉

木の葉の雨

この葉衣

風

黄ひま

黄葉林

菊

枯葉

名の本枯

うき柳

冬木の花

初雪

初氷

ゆり花

枇杷の花

葉の雪

さんざん

冬梅

冬菊

水仙

冬牡丹

心子の花

つるの花

梅の花

冬梅

冬つる

水急の伎

雪の子

さく雪

麦屑

涙面

冬梅

冬梅

冬車

雪の粉

雪の香

冬梅

冬梅

冬梅

冬佛

冬見

冬梅

冬梅

冬梅

冬佛

冬見

三

此以下二頁おける

切下 于葉約 鳳喉大根

大根川 葱玉子 室の梅

荳ひき 荳ひき 室の梅

くま菜 聖とん 多仙

宝珠模 為系

枯野 木の葉

本より くら系

を本立 種子 網付

あち本 氷魚

ふらあ 浦中

おとをき ちる

村ちり 磯ちる

夕渡尚 ちり

水島

うたねの香

外香

鴨 早の倉

美膳 海氣

悪うも 全氣

鴨香 糖 炭電

うら光 海縁

あけ汁

初縁 梅炭

炭焼

小登炭 大辨

白炭 手あがり

手あがり

湯婆 帝念

巨神 紙衣

紙衣

藤園

九段巾

角段巾 舌吹

朕 舌吹

舌吹

舌吹

冬 十一月

仲冬 復月 鴨月 神樂月 長月
黄鐘 暢月 霜月 天正月 冬見月

曆 冬至

一陽

芝居

宋城

上卯

山科 上日

平野 申

社 日

梅宮 上卯

松尾 日

富田 申

右田 申

日吉 日

太田 申

吹草 八日

猪の波

里 申

空也 言

おの神

吹草の系

日産のう

うらみ

空也 言

新堂 申

春日 廿七日

子あり

真白 申

大前 申

新堂 申

豊後 廿五日

大師 廿日

山科 申

初原 申

松尾 申

被初め

西の市

徳田 申

候 申

名女 申

名子

加ひる

たひる

候 申

六の花

あゆみ

名布袋

名布袋

名子

くせ

うらみ

氷抱

氷抱

凍 水

おの神

うらみ

厚巾

氷の流

おの神

おの神

おの神

名布袋

名布袋

名子

おの神

おの神

名布袋

名布袋

名子

おの神

おの神

冬 十二月

季冬 師走 臘月 十二月 亥月 除月 大呂 極月 除月 亥月 梅切月

乙子の初智

川辺より降

おぼ神末 赤

月次祭 土日

正月事始

御仏名 十九日

うらも綿

御登上 下

内宿新神末

公家神末

身内吉庚

追廻

おぼもふ

節分

正月月

松さき

縮改

厄もふ

厄松

右田大後

大系ご藤

煉掃

煉拂

札納

冬のみ

冬ころり

冬念仏

冬ころり

冬ころり

歳除仍年

歳書歳尾

歳ころり

歳ころり

晩歳歳末

年の終

年の末

曆の末

節書

年終

園事終り

年の矢

年の坂

年の浪

年本推

年の瀬

年の丸

年の市

歳末の市

年の丸

歳掃

歳末

うらも

練おろり

栢ころり

栢の板賣

破ららり

早松より

勝り

栢ころり

葉折賣

飾松賣

子咲換

早栢

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

葉とて

大晦日

小ころり

除夜

和布の神事

雜

季ふらうさ原祖

附雜の花の祖

茶室の神

梅の宮

鳥山

うさり

和泉の園

放生河

さう河

柳の浦

柳の水

橋の都

夜東の坊

板の處

富子の坊

葉うさ川

麻の南

藤の夜虫

このま

鳴

うさり

橋の菓

鷗鳥

羽鳥

むむ

かき

を雀毛の約

馬牡丹

丁魚の乳

板橋

棟

子輪

茶室のけ

いふ

まつむ花

空際の花

花葉のま

藤殿

茶の花鳥

茶殿

茶汁

つけ菓

梅丁

葵梅

丁ワム

りき

糖の菓

経のひ

聖あまひ

政の坊

眉の菓

梅壺

柳橋

筆のま

細代屋風

細代車

芙蓉

河の花

花坂日舞

花の帽子

花田

花うさ

花のり

浪の花

茶の都

花のり

花子の菓

花の帯

花うさ

花のり

茶うさ

花丁子

花山

花山

花山

花山

花山

△

△

△

△

△

戀

恋の詞

恋向ありふのり

恋物

思慕

情

靡

契

逢

呼

誓

占

眼

妬

恥

をり

新

恋

後

に

中

二

道

伴

違

虎

目

お

る

恋

向

あり

ふ

の

り

眉

目

の

善

悪

婚

れ

の

意

心

類

牙

た

香

南

本

の

品

手

作

事

夫

婦

縁

背

の

身

御

と

こ

も

恋

向

あり

ふ

の

り

た

の

ふ

と

恋

向

あり

ふ

の

り

増

幼

心

の

人

意

の

と

の

詞

の

詞

の

詞

と

の

詞

の

詞

の

詞

と

の

詞

の

詞

の

詞

と

の

詞

の

詞

の

詞

と

の

詞

の

詞

の

詞

切字

後句切字

羨の

けりあかたふりてくまらりかわりやぞ

ころそらんむ さあか ー かうやハハハ ー をたりいさ
 いつま ー のこいふ 何あをとなと ー まま さあか ー ハハ
 月 々々。ト知 いてよせふあか なるけ ー すすく 月よ
 太皇太后 ぬの字 かりんぬの切字ありふのぬハ切字ああり又
 考一
 ○現在 何ー 毛ー 遠ー 極ー 毛ー 遙ー
 ○未来 へー ありー 見ー ー ち
 けニツと切字あり
 ○過去 わりー ちひー ありー ちうせんー
 けさをのー ち切字あありとちり人ー

○俳諧之式 百韻 七十二候 源氏 四十四 歌仙
 月花之定坐

一面八句 七旬日月之定坐 裏十四句 九旬ヨリ月カ秋カ
 二面十四句 十旬日月 二裏十四句 十一旬月花之定坐
 三面十四句 十二面三旬 三裏十四句 十二ウナト同
 名残面十四句 十三面三旬 裏八句 七旬月花之定坐

○七十二候之式
 七十二候は百韻の二の折面裏ナカ一折核さふそのありゆく
 七十二句より目花の定座なりゆきあり

七十二候は百韻の二の折面裏ナカ一折核さふそのありゆく
 七十二句より目花の定座なりゆきあり

源氏之式

面六句

五句日月之定坐

裏十句

七句日月秋

二面十句

十句日月

二裏

初之句

余波面十句

二面句

裏六句

五句目花之定坐

四十四之式

祝慶ふも世をあらまへ

四十四も百負の初折と名ろりの二折と合せり、字句あり二三の折裏面と接し、体物と云ふ一、月花の定坐より係事なり

歌仙之式

面六句

五句日月之定坐

裏十句

七句日月秋

十句目花之定坐

余波面十句

裏六句

五句目花

句數之事

春秋

二句より二句をとりて

夏冬

二句より二句をとりて、但し、夏冬は、句あり、句三、八、句を合せり

神祇

神祇、秋教、旅、遊、水、色、山、類、秋、分

人倫

人倫、人名、名所、園名、降、物、障、物

生類

生類、極、物、時、介、衣、類、天、象、飲、食、遊、藝、能、ひ、か、る、り、二、百、と、く

火、折、と、百、中、も、捨、一、書、辨、も、百、中、も、捨、一、

句公之事

人、傳、人、名、名所、國名、を、ひ、き、物、時、介、物、障、物、二、百、と、く

火解 風解 物と冬を替る時分 日月星とありて 光り物
本と竹と草とありて 木を秋とありて 必生類

大のふ二白をたりたりて 月一

同字 生類 抽抽 時分 疾分 衣教 遠懐 雨筋 旅辨 神祇

釋教 糸 幸常 山類 水色

衣のふ二白をたりたりて 月一 日月星とありて 光り物
本と竹と草とありて 木を秋とありて 必生類

月松竹 田 夏 後 枕 夜舟 燈 日季

日月星とありて 光り物 本と竹と草とありて 木を秋とありて 必生類

同増補 彩撰

父母 男女 人倫の凡例 主 維身 獨媒 人倫と定て 長命と云ふ

僧 寺 ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

帝 仙洞 新院 冠 佛 ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

若菜 郭公 松虫 水虫 冬鶴 三日月 尾上 ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

雪 魚 ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

ありて 人倫の凡例 親王 皇女 天皇 天女 神門

此七部も古式の様ひ物あれし今式も此様か
子ムル 眠の字 記の字 虫 石 此八部も古式も後分り
冠小鳥帽子 飾も本飾 夕立子 函子 差 香子 猪
此八部も古式もつひの古式とあれし今式も
此二部も古式も異名の月付しとありしと
此四部も古式も今式の通式なり
此四部も凡例なり
右諸部一しるも字を左向きの形撰えを私わし古人の
考あり熟しと天教地取能るを後しりしと
字教を仍く用とを一理万通のゆかり

○も糸葉の緒の事

△あくるめをハもかへんえええ
是と七のてふはなり

○打絨方の事

△猫や網約の糸ちや生糸
あつらゆへい嬢ふあこ

○左嬢歌の事

△夜針や竹田の毎時 夏ふさ
月松枕 不白も

△連歌ありて面をうりてさくらみその

流環中くも七句さるる一

△換物の文字ハ其ニまゝくさくらみ

後句や振を面をらん

△をくも相くそれも二句原

本ト下陰も日一原をそ

○用捨歌の事

△懐めよ懐盡丸世ニ大事 罪科

天災ふ噴ふ者 不忠義

△近代の詩人の名 名も

△西民とも今居る人の名と出ま

家くの秘軒 家家の業

△定りてくる意の自不許とつり

後ハの存聲 遊覧のつれ

△新報と歌及の傳快ありハま

判者も軒とのそく一さなり

△連歌みも堀川百そまくと引

能小も二十年来も世

右六首ハ故実の秋あり

返り字やうきものことほふあけなご

篠の一夢 麻のをぢ

垣下山 妻の谷より夕けあり

秋より衣 玉のと柳

ゆとふつるをよ夜 夜もゆも

命のさゆる事とさうらん

をこそ見義ふいひ

統言子 裂退くいぬる他いと西

ゆとりやさひ 縁塔

際、の物懐の夢ささうらな 鳴

やも先 鳥より 進出 刺の篠

妙完よさく火のつらさ 羽のさ

たさのゆをゆる 傷る 岩より

羨思ふも 流人 羨そさ先

凍り 頁のく 流引とむ

進若り 若しと 沈ま 落まよふ

約 續しふるを 叶りぬとむ

名後 入りむる 瓦山 みるつら

あふり 懐 入り 松とせむ

増 十六篇句體

不易躰

流行躰

理屈躰

格式躰

サシヨク
箒用合場

句の形

句の終り

常のころ

凡言
護句場

取巻場

瘦瘠もあれをそ花のころゆふ
ゆり賣の唇あはれくあひは海
葉の火てたそむよる花見哉
夷海破賣ふ積るませふ
井の水のわううあありをうか
お川子富士の糸あさ沙丁草
花家具のまらぬ佐居や菊の花
約ひさの本方やあうんとの目
しるの居あしむ堂やほくさす

葉の戸や暑を月よ取うへ
名月や旋うらむ波のこほ
樂大り糸い糸い花のうけ
能うりうか安さよと一の葉
切うくと扇をうさせ暑の那
結成の花のさうりや八九月
筆やころの喜ふも二三
船の舟やうらうふも二ツ之ツ
極本屋の自燈は足さる所
賣家の自燈も見まらつ
美お板ようり小あくれ
卯の花や娘の眉のうくさる

あく場

ぬく場

句の苦

来春と取句

手と放場

気色

同一時

心の句

同一時

(不)もさきやうや水は流るるや

(暮)も白くも只下の空も

(親)方よきも初さるる

(葉)の落つるや初さるる

(松)風や新とめりや

(秋)風や新とめりや

(夕)陽や新とめりや

(月)や新とめりや

(花)の散るるや

(鳥)の鳴るるや

但句意同善八俳諧十六篇不くハ

天明六年丙午 江都 西村源六 版
新刻七編校正 浅草御前 辻村五兵衛

宗師法師

題名

卷之二

中村俊定文庫